

## ～下記の研究を行います～

# 『最近 5 年間に当院で施行した一時的人工肛門閉鎖術症 例の排便機能の検討』

【研究責任者】宮原 智

【研究の目的】当院における早期合併症などの短期成績と術後の排便状況について後方視的に調査し検討を行う。合併症の発生頻度や、排便機能がいかに温存されるかという点を明らかにする。

【研究の期間】研究許可日～2021 年 4 月 10 日

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2015 年 1 月から 2020 年 8 月までの 5 年間に一時的人工肛門閉鎖術を施行した患者さん。ただし、初回手術が緊急手術であった方は除きます。

●研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：原疾患・術式、周術期合併症や術後排便状況等の臨床情報を診療録より取得する。

【研究の資金源】

なし

【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI (シーオーアイ) : Conflict of Interest) とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

なお、本研究の利益相反については、当院の利益相反審査委員会で審査され適切に管理されています。

◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

◎情報等が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。

その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

国立病院機構大阪医療センター

〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14

TEL (06) 6942-1331 (代)

研究責任者 外科 (役職名) 専攻医 (氏 名) 宮原 智